

4月27日市議選に向けて—— 「立候補予定者に聞こう」

2月1日(土)
14:30～16:30(14:15開場)
鎌倉生涯学習センター
3階 第5集会室
参加無料

- なぜ、移転に反対するの？
- 計画は止められるの？
- 止めたら、どうなるの？
- 鎌倉は大丈夫？

あんなこと、こんなこと
なんでも聞いてみよう。

ついでに

ストップ
市庁舎移転



しんがしんが
鎌倉
会
思!

鎌倉が危ない!

ストップ! 市庁舎移転

4月27日の市議選はとても重大。負ければ移転するかも…

選挙の前に、市庁舎移転に反対する立候補予定者の主張を聞いてみよう。

●位置条例否決!

市長は再提案しそう

市庁舎を御成から深沢へ移転するなら、移転先を定める「位置条例」を改定する必要があります。でも「位置条例改正案」は、先おとし（2022年）12月の市議会で否決されました。

※ 市庁舎の所在地は「位置条例」で定めるよう地方自治法第4条第1項で決められている。

●議会無視!

なのに、去年12月に松尾崇市長は(株)日建設計と業務委託契約を結ぶなど、議会の否決を無視する行動に出ました。全戸に配布される「広報かまくら」でも、移転が既成事実のような宣伝を繰り返しています。

●住民訴訟の被告

こうした民主主義を踏みにじる市長の暴挙は、市民や市議から怒りを買っています。昨年末、鎌倉市民128人は松尾市長を相手取り、横浜地裁に「移転設計費差し止め訴訟」を起こしました。現在も係争中です。

●で、どうするの?

市庁舎は現在の御成に残せます。耐震補強して、増改築すればいいのです。最新のハザードマップによれば、津波でも庁舎は浸水しません。移転は「鎌倉大破壊」の第一歩です。

そう、市庁舎は移転しなくていいんです。